

4 貴自治体における検診委託機関との関係について

問 11 貴自治体における検診委託機関の選定方法についてお伺いします。(個別検診については、問 6 で①と答えた方は医師会、②と答えた方は医師会及び検診実施機関、③と答えた方は各診療所、④と答えた方は検診実施機関、を指します)

問 11-1 「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書（平成 20 年 3 月）」に記載された「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目（添付資料 1）」に沿った検診委託機関の選定を行っていますか。その際、ひな形として用いているような場合も「はい」とお答え下さい。集団検診・個別検診それぞれについて、がん種別に当てはまる選択肢を 1 つ選んで○を塗りつぶしてください。

	集団検診		個別検診	
	はい	いいえ	はい	いいえ
胃がん検診	○	○	○	○
肺がん検診	○	○	○	○
大腸がん検診	○	○	○	○
乳がん検診	○	○	○	○
子宮頸がん検診	○	○	○	○

問 11-2 【問 11-1 ではいと答えた人のみ】

「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書（平成 20 年 3 月）」に記載された「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目（添付資料 1）」に沿った検診委託機関の選定を、どの程度厳密に行っていますか。集団検診・個別検診それぞれの場合について、がん種別に当てはまる選択肢を 1 つ選んで○を塗りつぶしてください。

	集団検診		個別検診	
	仕様書の精度管理項目に沿った機関のみを厳密に選定	場合により各項目の条件を緩和する形で機関を選定	仕様書の精度管理項目に沿った機関のみを厳密に選定	場合により各項目の条件を緩和する形で機関を選定
胃がん検診	○	○	○	○
肺がん検診	○	○	○	○
大腸がん検診	○	○	○	○
乳がん検診	○	○	○	○
子宮頸がん検診	○	○	○	○

問 11-3 検診委託機関の選定の後、実際に仕様書に沿った検診が実施されているかどうかの監査を行っていますか。集団検診・個別検診それぞれの場合について、がん種別に当てはまる選択肢を1つ選んで○を塗りつぶしてください。

	集団検診		個別検診	
	はい	いいえ	はい	いいえ
胃がん検診	○	○	○	○
肺がん検診	○	○	○	○
大腸がん検診	○	○	○	○
乳がん検診	○	○	○	○
子宮頸がん検診	○	○	○	○

5 貴自治体におけるプロセス指標等のデータの活用について

問 12 貴自治体におけるプロセス指標の把握状況についてお伺いします。

問 12-1 貴自治体では、各プロセス指標を把握していますか。集団検診・個別検診のそれぞれについて、当てはまる選択肢を1つ選んで○を塗りつぶしてください。

	集団検診		個別検診		集団・個別を 分けずに把握
	把握している	把握していない	把握している	把握していない	
①受診率	○	○	○	○	○
②要精検率	○	○	○	○	○
③精検受診率	○	○	○	○	○
③精検未把握率	○	○	○	○	○
⑥陽性反応的中率	○	○	○	○	○
⑥がん発見率	○	○	○	○	○
⑦早期がん割合	○	○	○	○	○

※ 5 がん検診のうち、問 5 において「実施している」と答えた検診についてのみお答えください

問 12-2 下記項目について、検診実施機関別（個別検診については、問 6 で①と答えた方は医師会、②と答えた方は医師会及び検診実施機関、③と答えた方は各診療所及び病院、④と答えた方は検診実施機関、を指します）にプロセス指標を把握していますか。がん種別ごとに、当てはまる選択肢を1つ選んで○を塗りつぶしてください。

< 胃がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	把握している	把握していない	未実施	把握している	把握していない	未実施
①要精検率	○	○	○	○	○	○
②精検受診率	○	○	○	○	○	○

< 肺がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	把握している	把握していない	未実施	把握している	把握していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 大腸がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	把握している	把握していない	未実施	把握している	把握していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 乳がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	把握している	把握していない	未実施	把握している	把握していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 子宮頸がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	把握している	把握していない	未実施	把握している	把握していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

問 13 貴自治体におけるプロセス指標の活用方法についてお伺いします。

問 13-1 検診実施機関別に把握したプロセス指標を活用していますか。がん種別ごとに、当てはまる選択肢を1つ選んで○を塗りつぶしてください。活用とは、「市区町村のホームページへ公表する」「症例検討会・委員会等での議論に用いる」「次年度以降の検診委託機関の選定基準にする」等を指します。

< 胃がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	活用している	活用していない	未実施	活用している	活用していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 肺がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	活用している	活用していない	未実施	活用している	活用していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 大腸がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	活用している	活用していない	未実施	活用している	活用していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 乳がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	活用している	活用していない	未実施	活用している	活用していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

< 子宮頸がん検診 >

	集団検診			個別検診		
	活用している	活用していない	未実施	活用している	活用していない	未実施
①要精検率	0	0	0	0	0	0
②精検受診率	0	0	0	0	0	0

問 13-2【問 13-1 で活用していると答えた方のみ】

活用方法は、次に挙げるうちどれですか。**がん種別ごとに**、当てはまる選択肢を**すべて**選んで○を塗りつぶしてください。(複数回答)

	市区町村のホームページへの公表	症例検討会・委員会等での議論	次年度以降の検診委託機関の選定規準	その他 ()
胃がん検診	0	0	0	0
肺がん検診	0	0	0	0
大腸がん検診	0	0	0	0
乳がん検診	0	0	0	0
子宮頸がん検診	0	0	0	0

問 13-3 各市区町村のプロセス指標について、都道府県のホームページで公開することとされていますが、そのことはがん検診事業評価の推進に役立つと思いますか。当てはまる選択肢を1つ選んで○を塗りつぶしてください。

- 役立つと思う 0
- 役立たないと思う 0
- 公開されているかどうかを知らない 0

6 貴自治体におけるがん検診事業評価に係る関係機関との連携状況について

問 14 貴自治体における会議体の有無、および内容についてお伺いします。

問 14-1 貴自治体において、次に挙げる関係機関と、**健康増進事業全体**について話し合う会議の場が**毎年**ありますか。当てはまる選択肢をすべて選んで○を塗りつぶしてください。

また、実施している場合は1年に何回やっているか、また時期もご回答ください。(複数回答)

	なし	一部あり(トピック別に実施有無が異なる場合等)(回/年)	あり (回/年)	開催時期が、予算決定時期より前の場合 下記にマーク
都道府県との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
郡市医師会との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
保健所との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
検診実施機関との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
その他との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
市区町村単独の会議	0	0 ()	0 ()	0

問 14-2 貴自治体において、次に挙げる関係機関と**主にがん検診事業**について話し合う会議の場が**毎年**ありますか。当てはまる選択肢をすべて選んで○を塗りつぶしてください。

また、実施している場合は何月に何回やっているか、また時期もご記入ください。(複数回答)

	なし	一部あり(がん種別に実施有無が異なる場合等)(回/年)	あり (回/年)	開催時期が、予算決定時期より前の場合 下記にマーク
都道府県との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
郡市医師会との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
保健所との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
検診実施機関との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
その他との会議の場	0	0 ()	0 ()	0
市区町村単独の会議	0	0 ()	0 ()	0

問 14-3【問 14-2 でありと答えた方のみ】

各関係機関との**主にがん検診事業**について話し合う会議の場において、検討している内容はどのようなものですか。ア～オについて、当てはまる選択肢をすべて選んで○を塗りつぶしてください。

<ア. 下表に示す、国が定めた数値目標（それに準じた数値を都道府県で独自に設定している場合も含む）と貴自治体における現状とのギャップの把握>

①把握している

②把握していない

○

○

	受診率	要精検率	精検受診率
胃がん検診	50%以上	11%以下	70%以上
肺がん検診		3%以下	
大腸がん検診		7%以下	
子宮頸がん検診		1.4%以下	
乳がん検診		11%以下	80%以上

<イ. 上述の、国が定めた数値目標（それに準じた数値を都道府県で独自に設定している場合も含む）と貴自治体における現状とのギャップの共有>

①共有している

②共有していない

○

○

【共有していると答えた方のみ】

次に挙げる関係機関のうち、どこと共有していますか？（複数回答）

①都道府県

○

②群市医師会

○

③保健所

○

④検診実施機関

○

⑤その他

○

(

)

<ウ. プロセス指標のデータから抽出されたがん検診事業の課題についての検討 >

①検討している

②検討していない

0

0

【検討していると答えた方のみ】

次に挙げる関係機関のうち、どこと検討していますか？（複数回答）

①都道府県

0

②群市医師会

0

③保健所

0

④検診実施機関

0

⑤その他

0

(

)

<エ. 貴自治体の精度管理上の課題等を踏まえた次年度の具体的な事業計画 >

①検討している

②検討していない

0

0

【検討していると答えた方のみ】

次に挙げる関係機関のうち、どこと検討していますか？（複数回答）

①都道府県

0

②群市医師会

0

③保健所

0

④検診実施機関

0

⑤その他

0

(

)

<オ. 精度管理や受診率向上等についてモデルとなる他県や他市区町村の参考事例が提供されているか>

①提供されている

②提供されていない

0

0

【提供されていると答えた方のみ】

次に挙げる関係機関のうち、どこから提供されていますか？（複数回答）

①都道府県

0

②群市医師会

0

③保健所

0

④検診実施機関

0

⑤その他

0

(

)

問 15 次に挙げる関係機関と、がん検診事業評価に関する方針・手法等を相談できるネットワークがありますか。当てはまる選択肢をすべて選んで○を塗りつぶしてください。（複数回答）

①都道府県

0

②群市医師会

0

③保健所

0

④検診実施機関

0

⑤近隣の市区町村

0

⑥その他

0

(

)

問 16 貴自治体のがん検診事業評価の進捗状況等についてお伺いします。

問 16-1 貴自治体は、同じ都道府県内の近隣の市区町村に比べ、がん検診事業評価に関する取組を精力的に実施していると思いますか。当てはまる選択肢を1つ選んで○を塗りつぶしてください。

①とてもそう思う 0

②まあそう思う 0

③どちらとも言えない 0

④あまりそう思わない 0

⑤まったくそう思わない 0

問 16-2 【問16-1でとてもそう思う、まあそう思うと答えた方のみ】

その理由は次に挙げるうち、どれですか。特に当てはまる選択肢を3つまで選んで○を塗りつぶしてください。(複数回答可)

①知事・市長等、トップのがん検診に対する意識の高さ 0

②近隣の市区町村の取組に影響を受けた 0

③都道府県のがん検診事業評価への積極的な取組に促されて 0

④以前から自分の自治体に浸透していたがん検診事業評価に対する姿勢による 0

⑤医師会の積極的な姿勢に負うところが大きい 0

⑥その他 () 0

⑦特に理由はない 0

7 貴自治体がん検診担当者の基本情報について

問 17 年齢についてお伺いします。 問 18 性別についてお伺いします。

- | | | | |
|-------------|---|------|---|
| ① 20代 | 0 | ① 男性 | 0 |
| ② 30代 | 0 | ② 女性 | 0 |
| ③ 40代 | 0 | | |
| ④ 50代 | 0 | | |
| ⑤ 60代
以上 | 0 | | |

問 19 がん検診担当になって何年目ですか。

- | | |
|-----------|---|
| ① 1年目 | 0 |
| ② 2年目 | 0 |
| ③ 3 - 5年目 | 0 |
| ④ 6年目以上 | 0 |

問 20 あなたの自治体名・所属課・御名前等についてお伺いします。

自治体名		
所属課名	氏名	
TEL	FAX	e-mail

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。

生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会の活動状況
に関する調査のお願い

平成 24 年 3 月 8 日

各都道府県の肺がん検診担当課長 殿
各都道府県の肺がん検診担当者 様

厚生省科研費（第 3 次対がん）「標準的検診法と精度管理に係る
新たなシステムなどの開発に関する研究」班 研究代表者
国立がん研究センター 齋藤 博
研修会担当 研究分担者
金沢医科大学 呼吸器外科学 佐川 元保

拝啓 日頃は肺がん検診の精度管理向上にご協力頂き誠にありがとうございます。

先般よりご案内のとおり、国立がん研究センターにて開催致しました「生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会研修会」（H23 年 3 月 5 日）の一環として、各協議会における今年度の活動状況を伺うことになりました。この調査は、各協議会が当該都道府県全体の精度管理において適切なデータ把握や体制整備を行っているかどうかを評価することが目的です。

ご多忙の折大変恐縮ではございますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【ご回答方法】

別添の調査票（調査 1・調査 2）にご回答のうえ、同封の返信用封筒にて 3 月 26 日迄にご返送下さい。

【この調査結果の公表について】

各協議会の活動状況を評価し、当研究班のホームページにて都道府県名つきで公表させていただきます。公表方法その他につきましてご不明の点は研修会資料をご参照下さい。資料の再送を希望される場合は下記までお問合せ下さい。

また、協議会の活動が上記調査迄に終了しない場合は「調査 2」でその旨ご回答下さい。その場合は研究班ホームページ上の評価を 2 ヶ月間程度保留とする予定です。

ご不明な点は下記までお問い合わせをお願い致します。

国立がん研究センター がん予防・検診研究センター 検診研究部

Tel: 03-3542-2511(内線 3427)

Fax: 03-3547-5350

e-mail: rmachii@ncc.go.jp (推奨)

肺癌検診チェックリスト【都道府県】の遵守度調査

◆ 調査 1

- ◇ 以下、全ての質問項目に「○」または「×」でご回答ください
- ◇ H21年度の状況にもとづいて回答して下さい
- ◇ 項目2、3、4、5、に関しては、都道府県内の一部でも非遵守であれば「×」
とご回答下さい。

遵守○、非遵守×

肺癌検診のためのチェックリスト【都道府県用】	回答欄
1. 生活習慣病検診管理指導協議会の組織・運営	
(1) 肺がん部会は、保健所、医師会、肺がん検診に関連する学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等肺がん検診に係わる専門家によって構成されているか	
(2) 肺がん部会は、市町村が策定した検診結果について検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診実施機関、精密検査機関等と調整を行っているか	
(3) 年に1回以上、定期的に肺がん部会を開催しているか	
(4) 年に1回以上、定期的に生活習慣病検診従事者講習会を開催しているか	
2. 受診者の把握	
(1) 対象者数(推計を含む)を把握しているか	
(2) 胸部X線受診者数・喀痰細胞診受診者数を把握しているか	
(2-a) 胸部X線受診者数(率)・喀痰細胞診受診者数(率)を性別・年齢階級別に集計しているか	
(2-b) 胸部X線受診者数(率)・喀痰細胞診受診者数(率)を市町村別に集計しているか	
(2-c) 胸部X線受診者数・喀痰細胞診受診者数を検診実施機関別に集計しているか	
(2-d) 胸部X線受診者数・喀痰細胞診受診者数を過去の検診受診歴別に集計しているか 注1)	
3. 要精検率の把握	
(1) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の要精検率を把握しているか	
(1-a) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の要精検率を性別・年齢階級別に集計しているか	
(1-b) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の要精検率を市町村別に集計しているか	
(1-c) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の要精検率を検診実施機関別に集計しているか	
(1-d) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の要精検率を過去の検診受診歴別に集計しているか 注1)	
4. 精検受診率の把握	
(1) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の精検受診率を把握しているか	
(1-a) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	
(1-b) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の精検受診率を市町村別に集計しているか	

(1-c) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の精検受診率を検診実施機関別に集計しているか	
(1-d) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の精検受診率を過去の検診受診歴別に集計しているか 注 1)	
(2) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の精検未把握率を把握しているか 注 2)	
5. 精密検査結果の把握	
(1) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者のがん発見率を把握しているか	
(1-a) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	
(1-b) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者のがん発見率を市町村別に集計しているか	
(1-c) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者のがん発見率を検診実施機関別に集計しているか	
(1-d) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者のがん発見率を受診歴別 注 1) に集計しているか	
(2) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の臨床病期I期がん割合(発見がん数に対する臨床病期I期がん数)を把握しているか	
(2-a) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の臨床病期I期がん割合を性別・年齢階級別に集計しているか	
(2-b) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の臨床病期I期がん割合を市町村別に集計しているか	
(2-c) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の臨床病期I期がん割合を検診実施機関別に集計しているか	
(2-d) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の臨床病期I期がん割合を受診歴別に集計しているか 注 1)	
(3) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の陽性反応適中度を把握しているか	
(3-a) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しているか	
(3-b) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の陽性反応適中度を市町村別に集計しているか	
(3-c) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の陽性反応適中度を検診実施機関別に集計しているか	
(3-d) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の陽性反応適中度を受診歴別 注 1) に検討しているか	
(4) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の発見肺がんについて追跡調査を実施しているか。	
(4-a) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の発見肺がんの追跡所見・病理所見について把握しているか	
(4-b) 胸部X線受診者・喀痰細胞診受診者の発見肺がんの予後調査(生存率・死亡率の分析など)を実施しているか	
解説:この項目は、現在の肺がん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば必要である	

6. 偽陰性例(がん)の把握	
解説: 以下の3項目は、現在の肺がん部会の体制では困難な都道府県がほとんどであるが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要なことであるため、あえて挙げておく	
(1) 受診者の追跡調査や地域がん登録等により、検診受診後の肺がんを把握しているか	
(2) 検診受診後1年未満に発見された肺がん(偽陰性例)を把握しているか	
(3) 検診受診後1年以上経過してから発見された肺がんを把握しているか	
7. がん登録への参加(実施地域のみ)	
(1) 地域がん登録を実施しているか	
解説: 実施していれば○、実施していなければ(1-c)まで×	
(1-a) 地域がん登録に対して、症例を提供しているか	
解説: 肺がん部会が直接提供しなくとも検診機関あるいは精密検査機関が地域がん登録に検診発見肺がん例を提供していることを確認できれば○、確認できなければ×、地域がん登録を実施していなければ×	
(1-b) 偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しているか	
解説: 地域がん登録を実施していなければ×	
(1-c) 予後の追跡のために、地域がん登録のデータを活用しているか	
解説: 地域がん登録を実施していなければ×	
8. 不利益の調査	
解説: 以下の4項目は、都道府県内の主要な医療機関(精密検査担当となるような機関)に対して、「検診発見例において偶発症が発生した場合には報告してほしい」という文書を送付しておき、その後報告されたものに関して集計していることなどを行っていれば○とする	
(1) 検診受診後6ヶ月(1年)以内の死亡者を把握しているか	
解説: 精密検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除く	
(2) 精密検査による偶発症を把握しているか	
解説: 軽微なものを除く。おおむね1週間以上の入院治療を要するもの	
(2-a) 精密検査に伴う気胸や感染症を把握しているか	
解説: 軽微なものを除く。おおむね1週間以上の入院治療を要するもの	
(2-b) その他の重要な偶発症を把握しているか	
解説: 軽微なものを除く。おおむね1週間以上の入院治療を要するもの	
9. 事業評価に関する検討	
(1) チェックリストに基づく検討を実施しているか	
(1-a) 個々の市町村のチェックリストについて把握・検討しているか	
(1-b) 個々の検診実施機関のチェックリストについて把握・検討しているか	
(2) 要精検率等のプロセス指標に基づく検討を実施しているか	
(2-a) プロセス指標について、全国数値との比較や、各市町村間、検診実施機関間でのばらつきの確認等の検証を実施しているか	

(2-b) プロセス指標において問題が認められた市町村から、聞き取り調査等を実施しているか	
(2-c) プロセス指標において問題が認められた検診実施機関から、聞き取り調査等を実施しているか	
(3) チェックリストやプロセス指標において問題が認められた検診実施機関に対して、実地による調査・指導等を実施しているか 解説: 聞き取り調査で十分改善が期待できない場合に実地による調査・指導を行う体制ができていれば○でよい。聞き取り調査で十分改善が期待できる場合には実地による調査・指導を実際に行っていないとしても○としてよい。	
(4) 実地調査等により不適正な検診実施機関が認められた場合には、市町村に対して委託先の変更を助言するなど、適切に対応しているか	
10. 事業評価の結果に基づく指導・助言	
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しているか	
(1-a) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市町村や検診実施機関に配布しているか	
(1-b) 事業評価の結果について、市町村や検診実施機関に対する説明会を開催しているか	
(1-c) 事業評価の結果に基づき、市町村や検診実施機関に対して個別の指導・助言を実施しているか	
(2) 事業評価の結果を、個別の市町村や検診実施機関の状況も含めて、ホームページ等で公表しているか	

注 1) 初回受診者(初回の定義は前年に受診歴がない者)及び逐年検診受診者等の受診歴別

注 2) 未把握は、精検受診の有無が分からないもの。および(精検受診したとしても)精検結果が正確に分からないもの全て。

◆ 調査 2

◇ 貴県の生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会の開催状況について伺います。以下、当てはまるものに○をお付け下さい。

- (1) H23年度の肺がん部会は開催されましたか
- a. 開催済み () → (2)にご回答下さい。
- b. 今後開催予定 () → 開催時期はいつ頃ですか (____月頃)
- c. 開催の予定無し ()
- (2) (設問1でaと回答された場合) H23年度の検討結果をホームページで公表されていますか
- a. 公表済み () → (3)にご回答下さい。
- b. 今後公表予定 () → 公表時期はいつ頃ですか (____月頃)
- c. 公表の予定無し ()
- (3) (設問2でaと回答された場合) そのホームページのアドレスをご記入下さい
(_____)
- (4) (設問2でaと回答された場合) 以下の結果・指導は公表されていますか。
「はい」「いいえ」のどちらかに丸をつけてお答えください。なお、括弧内の「必須」とされているものが公表されていない場合には「いいえ」とお答え下さい
- (ア) 市区町村へのチェックリスト遵守度調査 (市区町村名入りが必須)
(はい、いいえ)
- (イ) 検診機関へのチェックリスト遵守度調査 (機関名入りが必須)
(はい、いいえ)
- (ウ) 市区町村への肺がん検診精度指標調査 (市区町村名入りが必須)
(はい、いいえ)
- (エ) チェックリスト遵守度調査で各都道府県が設定した評価段階以下の市区町村に対する改善指導 (市区町村名入りが必須)
(はい、いいえ)
- (オ) チェックリスト遵守度調査で各都道府県が設定した評価段階以下の検診機関に対する改善指導 (機関名入りが必須)
(はい、いいえ)
- (カ) 「精検受診率」70%未満の市区町村に対する改善指導 (市区町村名が必須)
(はい、いいえ)

- (キ) 都道府県のチェックリスト遵守度調査
(はい、いいえ)

◆ ご協力頂き誠にありがとうございました。以下の署名欄にご記入のうえ、返送用封筒でご返送下さい。

ご署名欄 後日お問い合わせをさせて頂く場合がありますので、ご連絡先は必ずご記入下さい。

都道府県名・ご所属：	
ご氏名：	
TEL：	FAX：
メールアドレス：	

通信欄

--

乳がん検診チェックリスト(市町村版) コンセンサスパネル結果一覧

現行のチェックリスト項目		評価後に決定したチェックリスト項目	議事録
		1.受診者への説明	
51		要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に知らせているか	検診機関との共通項目を新設 (検診機関か市町村のどちらかが実施すればよい。)
52		精密検査の方法や内容について事前に説明しているか	検診機関との共通項目を新設 (検診機関か市町村のどちらかが実施すればよい。)
53		検診結果(精検結果を含む)の検診機関・市町村等への報告・照会の必要性と個人情報の取り扱い、守秘義務などについて、受診者に対し知らせているか	検診機関との共通項目を新設 (検診機関か市町村のどちらかが実施すればよい。)
54		検診の有効性・限界について事前に説明しているか	検診機関との共通項目を新設 (検診機関か市町村のどちらかが実施すればよい。)
1	検診対象者	2.検診対象者	
(1)	対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか	40歳以上女性住民の名簿を住民基本台帳などに基づいて作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診体制の大きな問題のひとつであり、今回の会議で議論を尽くすことは難しい。 ・指針に準じて「40歳以上全員」とする。 ・網羅的、とは即ち対象者を全員含んでいることが条件であるが、現状ではまず40歳以上の全ての名簿を作成していないと、非該当者を除外することもできないので、ここが出発点となる。
(2)	対象者に均等に受診勧奨を行なっているか	少なくとも健康増進事業の対象者全員に個別の受診勧奨を行なっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)同様。職域も絡んだ議論になる。 ・健康増進事業の対象者全員への個人毎勧奨は必須 ・均等に→個別に
2	受診者の情報管理^{注1)}	3.受診者の情報管理^{注1)}	
(1)	対象者数(推計を含む)を把握しているか	健康増進事業の対象者数(計算式に基づく推計を含む)を把握しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・推計とは厚労省がん検診事業評価委員会の設定した計算方法を基本として、何らかの計算を行う ・今後は年齢の上限について議論されるべき
(2)	受診者数を年齢階級別に集計しているか	受診者数を年齢階級別に集計しているか	特になし
(3)	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	特になし
(4)	受診者数を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注2)}	受診者数を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注2)}	特になし
(5)	受診者数を検診実施機関別に集計しているか	受診者数を検診実施機関別に集計しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な市町村のタスクとしては、管轄管内の委託検診機関のバラツキを検討し、一定の水準に満たない検診機関とは契約しない等の対策をとる。

(6)	過去3年間の受診歴を記録しているか	過去3年間の受診歴を記録しているか	・(4)と関連する項目。記録のみで集計は行なっていない自治体もある。 ・実際には3年以上記録している自治体が多いかもしれないが、チェックリストの性質上(100%実施目標)3年に留める。
3	要精検率の把握^{注1)}	4.要精検率の把握^{注1)}	
(1)	要精検率を把握しているか	要精検率を把握しているか	特になし
(2)	要精検率を年齢階級別に集計しているか	要精検率を年齢階級別に集計しているか	特になし
(3)	要精検率を検診実施機関別に集計しているか	要精検率を検診実施機関別に集計しているか	特になし
(4)	要精検率を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注2)}	要精検率を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注2)}	・注釈記述「逐年受診」は不適切。初回、非初回別の集計を意味する。
4	精検受診の有無の把握と受診勧奨^{注1)}	5.精検受診の有無の把握と受診勧奨^{注1)}	
(1)	精検受診率を把握しているか	精検受診率を把握しているか	特になし
(2)	精検受診率を年齢階級別に集計しているか	精検受診率を年齢階級別に集計しているか	特になし
(3)	精検受診率を検診実施機関別に集計しているか	精検受診率を検診実施機関別に集計しているか	特になし
(4)	精検受診率を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注2)}	精検受診率を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注2)}	特になし
(5)	精検未受診率を把握しているか	精検未受診率を把握しているか	・本項目で聞きたいことは「把握しているかどうか」、その値の評価はプロセス指標数値目標による。
(6)	精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか	精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか	・本来は特に再勧奨が効果的な年齢層に対して重点的に勧奨することが重要(今後の検討課題)。
5	精密検査結果の把握^{注1)}	6.精密検査結果の把握^{注1)}	
(1)	精密検査結果及び治療の結果報告を精密検査実施機関から受けているか	精密検査結果及び組織型・病期の結果報告を精密検査実施機関・治療機関から受けているか	・文言は検診機関と揃える ・どこまで詳細に把握するかは都道府県のポリシーによる(地域がん登録など)。本項目では、最低限健康増進事業報告に必要なデータを意味する。
(2)	過去3年間の精密検査結果を記録しているか	過去3年間の精密検査結果を記録しているか	特になし

(3)	精密検査の検査方法を把握しているか	精密検査の検査方法を把握しているか	特になし
(4)	がん発見率を把握しているか	がん発見率を把握しているか	特になし
(5)	がん発見率を年齢階級別に集計しているか	がん発見率を年齢階級別に集計しているか	・人口規模が小さい地域でも複数年プールして集計可能であり、単年度毎に集計しておくべき。
(6)	がん発見率を検診実施機関別に集計しているか	がん発見率を検診実施機関別に集計しているか	特になし
(7)	がん発見率を受診歴別 ^{注2)} に集計しているか	がん発見率を受診歴別 ^{注2)} に集計しているか	特になし
(8)	がん発見率を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	がん発見率を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	特になし
(9)	早期がん割合 ^{注3)} (発見がん数に対する早期がん数)を把握しているか	早期がん割合 ^{注3)} (発見がん数に対する早期がん数)を把握しているか	特になし
(10)	非浸潤がんを区別しているか	非浸潤がんを区別しているか	特になし
(11)	早期がん割合を年齢階級別に集計しているか	早期がん割合を年齢階級別に集計しているか	特になし
(12)	早期がん割合を検診実施機関別に集計しているか	早期がん割合を検診実施機関別に集計しているか	特になし
(13)	早期がん割合を受診歴別 ^{注2)} に集計しているか	早期がん割合を受診歴別 ^{注2)} に集計しているか	特になし
(14)	早期がん割合を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	早期がん割合を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	特になし
(15)	陽性反応適中度を把握しているか	陽性反応適中度(がん発見数÷要精検者数)を把握しているか	・陽性反応適中度の定義を明記しておく ・陽性反応適中度の高低を単純比較して検診機関の質の評価につなげる動きがあるが、要精検の判定基準が施設毎に異なるため十分に検討すべき(カテゴリー3を要精検にカウントしない施設だとPPVが高くなるなど)
(16)	陽性反応適中度を年齢階級別に集計しているか	陽性反応適中度を年齢階級別に集計しているか	特になし